

春夏秋冬シリーズコンサート「春」

崎谷 直人 [ヴァイオリン] (さきや なおと)

1998年ノボシビルスク国際コンクールジュニア部門第1位、メニューイン国際コンクールジュニア部門第3位を獲得し、ケルン音楽大学に最年少15歳で入学。

その後パリ市立音楽院、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、バーゼル音楽院修了。

2006年にウェールズ弦楽四重奏団を結成。第1ヴァイオリン奏者として、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門、大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門にて各3位を獲得。

メナヘム・プレスラー、アレクサンダー・ロマノフスキー、ポール・メイエ、ミッシェル・マイスキー各氏ほか、多くのトップアーティストらと室内楽を共演。

また、王子ホール、hakuju ホール、紀尾井ホール、第一生命ホール、iichiko 総合文化センター等、多くの主要ホールに招かれる。

2014年より8年間、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターを務めた。

これまでに、東京フィル、京都市交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、バーゼル交響楽団、ノボシビルスク・フィル等とソリストとして共演。

日本センチュリー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK 交響楽団など、全国のオーケストラに客演コンマスとして出演。

ヴァイオリンを、原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・ブーレ、ロラン・ドガレイユ、ダニエル・ゼベック各氏に、弦楽四重奏をライナー・シュミット氏（ハーゲン四重奏団）に師事。

現在は、ウェールズ弦楽四重奏団、石田泰尚とのヴァイオリンユニット「DOS DEL FIDDLES」等で活動し、全国のオーケストラに客演コンサートマスターとして多数出演している。

これまでにウェールズ弦楽四重奏団として、進行中のベートーヴェン全集を含む6枚のアルバム (fontec) と、DOS DEL FIDDLES として、『DOS DEL FIDDLES-LIVE-』（日本コロムビア）をリリース。

2022年10月、バッハ無伴奏曲を中心とした自身初となるアルバム『destined for...BACH』（fontec）をリリース。

沼沢 淑音 [ピアノ] (ぬまさわ よしと)

桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を首席で卒業、あわせて桐朋学園音楽部門より特別奨学金を授与される。

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て公益財団法人ロームミュージックファンデーションの奨学生としてエリソ・ヴィルサラゼ氏のもと2015年にモスクワ音楽院を卒業。これまでに杉安礼子、故ウラジーミル・竹の内、佐藤辰夫、辻井雅子、広瀬康、野島 稔、ミハイル・カンディンスキー、エリソ・ヴィルサラゼの各氏に師事。

「素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました」(M. アルゲリッチ氏)

「音楽に普遍的なアプローチをする事ができる個性的で創造的なアーティスト」(P. ネルセシアン氏)と称賛される。

第52回全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第2位受賞。第54回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位受賞。

若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール、マウロ・パオロ・モノポリー 国際ピアノコンクール、ケルン国際音楽コンクール第3位入賞、シュニトケ国際コンクール優勝、ポリーニも過去に優勝した歴史あるポツォーリ国際ピアノコンクールで優勝。

また浜松国際ピアノコンクールにおいて「ネルセシアン賞」(「公財」アルゲリッチ芸術振興財団賞)を受賞し、アルゲリッチ氏より別府アルゲリッチ音楽祭に招待され演奏する。室内楽にも積極的に取り組み、2010年崎谷直人(ヴァイオリン)、新倉瞳(チェロ)とトリオのCDをリリース、2019年鍵富弦太郎(ヴァイオリン)とデュオのCDをリリース、また同年西村尚也(ヴァイオリン)、ルドヴィート・カンタ(チェロ)との宗次ホールでのライブ演奏のトリオのCDがリリースされている。

外山雄三、沼尻竜典、山田和樹、アナトリー・レービン、ミハエル・ザンデルリング指揮、アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ケルン放送管弦楽団等と共演。

ラ・フォル・ジュルネ音楽祭等日本国内各地をはじめ、スペインやイタリア、ドイツ、フランス、ロシア、ベラルーシ、中国等の音楽祭に出演。



たましん RISURU ホールへのアクセス

〒190-0022 東京都立川市錦町 3-3-20

◎JR 立川駅南口よりすずらん通りを直進、徒歩 13 分

◎南武線西国立駅より徒歩 7 分

◎多摩モノレール立川南駅より立川南通りを直進、徒歩 12 分

※ご来場は公共交通機関をご利用ください